

#### 議事要旨(4) 財務諸表表示専門委員会における検討状況について

冒頭、新井常勤委員（専門委員長）より、財務諸表表示専門委員会において、IASBから公表されているディスカッション・ペーパー「財務諸表の表示に関する予備的見解」（以下DP）に対するコメント（2009年4月14日期限）を検討している旨が説明された。引き続き荻原主任研究員より、3月にIASB及びFASBとの定期協議が予定されていることもあって、DPに対するコメントの方向性を決めたいということと、具体的なコメント案の内容についての説明が行われた。

説明の後、委員からの発言等は次のようなものであった。

- ・ ある委員から、①DPでは作成者に負担のかかる提案が多くなされており、そもそも事業・財務等に明確に区分できるのか疑問があること、②DPでは、退職給付費用は営業に区分されることが提案されているにもかかわらず、1月のIASB会議の退職給付プロジェクトでは、退職給付費用を分解表示することが議論されており、退職給付プロジェクトでの議論が先行していることから、IASB会議での議論の経過を見ながら、コメントに反映させるべきであるとの意見があった。

これに対して、事務局から、コメント案ではコスト・ベネフィットを重視する点が記載されていること、また、退職給付プロジェクトについては、IASB会議の暫定合意内容を受けて、必要があればコメントに反映させることが説明された。

- ・ また、売上原価を機能別・性質別に表示する点に関して、DPの付録で示されているように詳細な表示を連結ベースで行うことはできないとして、DPの提案に対して疑問を呈する意見があった。

これに対して、事務局から、コスト・ベネフィットの観点から問題であるとの意見が多ければコメントに反映させるとの説明が行われた。

以上